

苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会先進都市視察研修

日 時 令和 5 年 1 月 1 6 日 (木) 午前5時20分～14時00分
 委 員 佐藤会長、平田副会長、嶺野委員、西田委員、野澤委員、中谷委員、
 田中委員、伊藤委員、 8 名
 事務局 伊藤市場水産主幹、紺世主査 2 名 計 1 0 名

①室蘭市公設地方卸売市場

午前 6 時30分～8時30分 対応者 室蘭市経済部農水産課 赤石課長、小川課長補佐

〔参加者の主な感想〕

- ・安心・安全な生鮮品を扱う場として、新しい建物で、明るく衛生的な施設だと感じた。
- ・競り場の床面と搬入搬出の床面のレベル差は、衛生管理的な観点から合理的な設計と思われるが、使用する側からは使いづらいとの声もあるようだ。
- ・競り場の床面と搬入、搬出の床面のレベル差は、衛生管理的な観点から合理的な設計と思われるが、使用する側からは使いづらいとの声もあるようだ。
- ・2階に見学用のガラス張りのコースがあり、その場所から色々な魚のセリを見学でき楽しかった。苫小牧も見学コースがあれば魚に興味を持つきっかけになるのでは思った。
- ・完全密閉型の施設だか、ランニングコストを押さえるために空調は自然空調のみに抑えたようだ。



《室蘭市公設地方卸売市場の様子》

②札幌市中央卸売市場

午前10時30分～12時00分 対応者 札幌市経済環境局中央卸売市場 岩立市場長
佐々木管理課長、藤井主査

〔参加者の主な感想〕

- ・施設が大きいだけに、老朽化に対する対応が難しそうに感じた。
- ・生ゴミのリサイクル、太陽光発電機設置、災害の時の非常用電源に使用、天然ガス自動車が走っていることなど、規模は違うが、参考になる話が聞けた。
- ・市場情報をyoutube利用し発信が魅力でした。
- ・センターヤードに太陽光パネルが約1,400枚設置され、緊急時は切替えにより市場で用するが、通常時は売電し、市の売上になっていたことは参考になった。



《札幌市中央卸売市場の様子》

Q3. 総括、取りまとめ

室蘭市と札幌市の2か所市場視察と各市場関係者からの説明は長時間の行程でありましたが、有意義な内容で良い経験となった。

室蘭市は「安心・安全」に配慮された新しい建物と市場運営（セリ他）を直接見学出来、2階に見学用通路あり、セリ場の床面と搬入、搬出の床面の段差（80cm）ありなど、苫小牧市場と比べながら考え参考になった。

札幌市では、人口や市場の取扱量は苫小牧市場と比べて差があるが、市場情報をyoutube利用し発信するなど市場活性化に向けた取り組みや、リサイクル事業、施設整備計画、災害への備えなど参考になった。

今後、苫小牧市場において、どのような付加価値をつけられるかと自然エネルギーを活用することなどゼロカーボン意識を入れられるかなど、今までの市場+αを模索する必要があると感じている。

苫小牧の地域性を生かしながら、北海道のみならず、本州（若しくは海外）までを視野に入れて、具体的な取り組みを検証する時期になっていると思います。

苫小牧市公設地方卸売市場経営展望 各部行動計画検証(案)

産業經濟部産業振興室農業水産振興課

令和6年1月18日

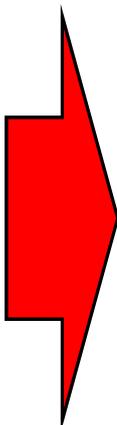
1【当初】青果部行動計画(令和元年度～令和5年度検証結果)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				当初 計画 時期	開設者(市の検証)					事業者(卸の検証)					R6以降 へ引継
	卸	仲卸	買受人 生産者	開設者		(◎実施済 ○継続中 △一部実施 ×未実施)										
						R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
戦略(1)品質管理の徹底																
品質管理の推進と市場のブランド価値の向上																
① 冷蔵・冷凍設備を活用した温度管理の徹底	◎	○		○	短期	○									同 左	継続
② 業界団体のマニュアル等に基づいた衛生管理の実施	◎	○	○	◎	短期	○									○	継続
③ 市場内で使用するフォークリフトの電動化の推進	◎	◎		○	中期										○	継続
戦略(2)生産者との連携強化																
生産者との連携を強化し、生鮮食料品の安定供給に努める																
① 消費者ニーズに合った集荷の推進	◎	○	○		短期	○									同 左	継続
② 卸売業者は支店と連携し、集荷力の向上	◎				短期	○									同 左	継続
③ 集荷ルートや産地を開拓し、市場のコーディネート機能の強化	◎	○	○	○	短期	○									同 左	継続
④ 料理教室の開催など食育の推進	◎	○	○	○	中期											継続
戦略(3)販売力の強化																
新しい販路の拡大																
① 道内や本州に向けて販路の拡大	◎	○	○	○	短期	○									同 左	継続
② 専門家・有識者の協力を得て、農産物ブランド力の強化	◎	○	○		中期										○	継続
③ 小売店との連携を堅持し消費者ニーズに対応した取り組みの実施	◎	○	○		中期											継続
④ 泥付・規格外商品の販売などの充実	◎	○	○		中期										泥付は需要減少	変更

I 市場の機能強化

1【改定後】青果部行動計画(令和6年度～令和15年度)

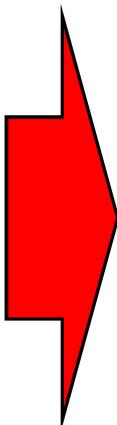
具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容
	卸	仲卸	買受人 生産者	開設者	
戦略(1)品質管理の徹底					
品質管理の推進と市場のブランド価値の向上					
① 冷蔵・冷凍設備を活用した温度管理の徹底	◎	○		○	日々の点検の継続実施、又、売場温度管理の方法を検討する。
② 業界団体のマニュアル等に基づいた衛生管理の実施	◎	○	○	◎	トイレの手洗い、電気消灯などに非接触タイプを設置し、運用する。市場の清掃などの美化や売場の点検などを実施する。
③ 市場内で使用するフォークリフトの電動化の推進	◎	◎		○	市場内で使用するフォークリフト等については、更新時に電動化を検討する。
戦略(2)生産者との連携強化					
生産者との連携を強化し、生鮮食料品の安定供給に努める					
① 消費者ニーズに合った集荷の推進	◎	○	○		顧客との情報を生産者と共有を図りながら、集荷の推進に努める。
② 卸売業者は支店と連携し、集荷力の向上	◎				千歳支店と係を回りながら、集荷に努める。
③ 集荷ルートや産地を開拓し、市場のコーディネート機能の強化	◎	○	○	○	産地訪問するなど、集荷に努める。
④ 料理教室の開催など食育の推進	◎	○	○	○	食育の推進につながる事業を実施する。
新規 ⑤ 産地直送など、輸送方法の効率化の推進	◎	○			農産物を直接産地から小売店に配送するなど、鮮度の良い商品の配送を推進する。
戦略(3)販売力の強化					
新しい販路の拡大					
① 道内や本州に向けて販路の拡大	◎	○	○	○	道内や本州に向けて、市場間取引を拡大していく。
② 専門家・有識者の協力を得て、農産物ブランド力の強化	◎	○	○		JA、仲卸業者、スーパー等と協力して、農産物のブランド力強化に努める。
③ 小売店との連携を堅持し消費者ニーズに対応した取組の実施	◎	○	○		小売店との連携を堅持し、顧客情報の共有を図りながら、商品の充実に取り組む。
変更 ④ 規格外商品の販路の充実	◎	○	○		規格内の商品だけではなく、規格外(規格のサイズから外れたもの等)商品についても販路の充実を図る。
新規 ⑤ 仲卸業者、買受人以外への第三者販売の強化	◎				各種イベントでの販売や他都市業者への販売など第三者販売を強化する。
新規 ⑥ 物流機能の効率化の検討	◎	○		○	空港や港が近い交通要衝としての強みを生かし、物流機能の効率化を検討する。



I
市場の機能強化

1【改定後】青果部行動計画(令和6年度～令和15年度)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容
	卸	仲卸	買受人 生産者	開設者	
II 市場の役割の発揮・発信					
戦略(4) 市場の情報発信と観光機能との連携					
観光機能と連携し生鮮食料品の消費拡大に向けた取り組みを推進					
① 市場の役割や生鮮食料品の情報発信の推進	◎	○	○	◎	市場感謝祭等イベントを通じ、市場の役割や生鮮食料品の情報発信の推進に努める。
② 隣接する商業施設(ぶらっと港市場)との連携の強化	○			◎	隣接する商業施設(ぶらっと港市場)との連携を強化する。
③ 「港まつり」や「ホッキまつり」等のイベントに施設や駐車場の開放	○			◎	「港まつり」や「ホッキまつり」などのイベントに施設や駐車場を開放する。
④ 卸売市場の取引数量、内容等を開示して情報発信の強化	◎				市場法に基づき、卸売市場の取引数量、内容等を開示して情報発信を強化する。
変更 ⑤ インターネット等を活用した、 市場や商品の情報発信	◎			○	インターネット等を活用し、市場や商品の情報発信を強化する。
III 市場施設の維持・整備					
戦略(5) 施設の有効利用と機能強化					
長寿命化を図りながら施設を有効利用し、維持・整備の実施					
① 維持整備計画を作成し、計画的な維持・整備の実施	○	○		◎	維持整備計画に基づき、修繕等を実施する。
② 関係者からの要望で優先度の高いものから整備の実施	○	○	○	◎	建物の状況を見極めながら、関係者からの要望の多いものは、前倒しするなどして修繕等を実施する。
③ 建物の状況を見極め、必要な調査を行い計画の見直しを検討	○	○		◎	青果棟の整備方針を協議する。
IV 市場の管理・経営の改善					
戦略(6) 使用料等の検討					
将来的に市場に必要な費用の積算を行い、使用料等の見直しを実施					
① 市場に必要な費用の積算を行い、資金計画を作成				◎	投資・財政計画を作成する。
戦略(7) 民間活力の導入					
指定管理者制度の検証					
① 指定管理者の業務内容について検証	○			◎	指定管理期間終了前に、業務内容の検証を行う。



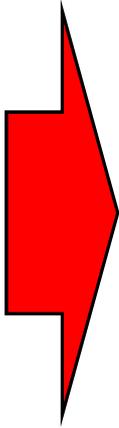
1【当初】青果部行動計画(令和元年度～令和5年度検証結果)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				当初 計画 時期	開設者(市の検証)					事業者(卸の検証)					R6以降 へ引継
	卸	仲卸	買受人 生産者	開設者		(◎実施済 ○継続中 △一部実施 ×未実施)										
						R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
戦略(8)防災対策																
事業継続計画を策定し、市場間の相互応援体制を継続																
① 各種協定に基づいた他市場との相互応援体制を継続	○			◎	短期	○								○	継続	
② 災害時における部門ごとの業務継続計画を確立	○	○	○	◎	短期			△							継続	
③ 地震や津波等、様々な災害を想定した訓練を実施	○	○		◎	短期			△						○	継続	
④ 緊急時の初期電源確保のため、発電機等の常備を実施	○			◎	短期			◎							終了	
戦略(9)働きやすい環境の整備																
労働環境の改善																
① 休日や出勤時間等の労働条件の改善	◎	◎			短期	○									継続	
② 若者や女性が働きやすい職場づくりの推進	◎	◎		○	短期	○									継続	
③ 労働負担を軽減する設備の導入など労働環境の改善	◎	◎		○	短期			○					○		継続	
戦略(10)その他取引ルールの検討																
ルールの設定																
① 取引ルールを設定(第三者販売・直荷引き・商物一致等)	○	○		◎	短期			◎							終了	

V
その他

1【改定後】青果部行動計画(令和6年度～令和15年度)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容	
	卸	仲卸	買受人 生産者	開設者		
戦略(8) 防災対策						
事業継続計画を策定し、市場間の相互応援体制を継続						
① 各種協定に基づいた他市場との相互応援体制を継続	○			◎	道内卸売市場による災害時相互応援協定や全国公設地方卸売市場協議会災害時相互応援協定を維持する。	
② 災害時における業務継続計画(BCP)を確立	○	○	○	◎	業務継続計画(BCP)の策定する。	
③ 地震や津波等の災害を想定した訓練を実施	◎	○		○	様々な災害を想定した避難訓練などを実施する。	
V その他	戦略(9) 働きやすい環境の整備					
	労働環境の改善					
	① 休日や出勤時間等の労働条件の改善	◎	◎			休日増や残業時間の短縮に努めるなど、労働条件の改善に努める。
	② 若者や女性が働きやすい職場づくりの推進	◎	◎		○	若者や女性が働きやすい職場づくりや環境美化などに努める。
	③ 労働負担を軽減する設備の導入など労働環境の改善	◎	◎		○	IT化を進めて、業務の効率化、省力化を図る。



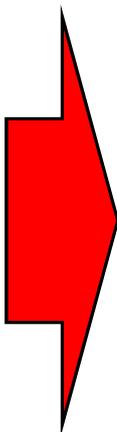
2【当初】水産物部行動計画(令和元年度～令和5年度検証結果)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				当初 計画 時期	開設者(市の検証)					事業者(卸の検証)					R6以降 へ引継
	卸	買受人	生産者	開設者		(◎実施済 ○継続中 △一部実施 ×未実施)										
						R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
戦略(1)品質管理の徹底																
品質管理の推進と市場のブランド価値の向上																
① 水産市場衛生管理協議会において衛生管理に関する協議の実施	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	変更
② 北海道産地市場衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理の実施	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	変更
③ 活魚水槽を活用した鮮度の保持	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
戦略(2)生産者との連携強化																
生産者との連携を強化し、生鮮食料品の安定供給に努める																
① 産地市場の強みを活かし、地元鮮魚の取り扱いの充実	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
② 産地や他市場との連携を強化し、品揃えの充実	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
③ 冷凍品や加工品など、消費者ニーズに対応した品揃えの充実	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
戦略(3)販売力の強化																
新しい販路の拡大																
① 鮮度の高い状態での安定供給	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
② 新しい魚種の取り扱いの強化	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
③ 地元スーパーや市外への流通の拡大	◎	○	○	○	短期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続
④ 加工場との連携や、海外向けの販売など新たな取り組みの検討	◎	○	○	○	中期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 左	継続

I
市場の
機能
強化

2【改定後】水産物部行動計画(令和6年度～令和15年度)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容
	卸	買受人	生産者	開設者	
戦略(1)品質管理の徹底					
品質管理の推進と市場のブランド価値の向上					
変更 ① 水産物部運営連絡協議会において衛生管理に関する協議の実施	◎	○	○	○	市場関係者で構成する水産物部運営連絡協議会において、衛生管理を協議する。
変更 ② 北海道産地市場衛生管理マニュアル、HACCPに基づいた衛生管理の実施	◎	○	○	○	北海道産地市場衛生管理マニュアル、HACCPに基づいた衛生管理を実施する。
③ 活魚水槽を活用した鮮度の保持	◎	○	○	○	活魚水槽の活用により、鮮度が良い活魚の取り扱いの充実を図る。
戦略(2)生産者との連携強化					
生産者との連携を強化し、生鮮食料品の安定供給に努める					
I 市場の機能強化 ① 産地市場の強みを活かし、地元鮮魚の取扱の充実	◎	○	○		苫小牧漁業協同組合と連携しながら、地元鮮魚の取り扱いの充実を図る。
② 産地や他市場との連携を強化し、品揃えの充実	◎		○		市場間取引や他産地との取引を拡大し、品揃えの充実を図る。
③ 冷凍品や加工品など、消費者ニーズに対応した品揃えの充実	◎		○		顧客との情報を苫小牧漁業協同組合と共有を図りながら、冷凍品や加工品などの集荷に努める。また、展示会等への出展を通じ、仕入先の拡大を図る。
戦略(3)販売力の強化					
新しい販路の拡大					
① 鮮度の良い状態での安定供給	◎	○	○		活魚水槽の活用の他、苫小牧漁業協同組合との連携により活締め魚種の拡大に努める。
② 新しい魚種の取り扱いの強化	◎		○		苫小牧消費者協会と連携した料理教室や指定管理者の自主事業によるPR等により、地元鮮魚の周知を図る。
③ 地元スーパーや市外への流通の拡大	◎		○		市民への「お魚屋さんマップ」配布や指定管理者による料理コンテスト実施などのPRにより、地元鮮魚の流通の拡大に努める。
④ 加工場との連携や、海外向けの販売など新たな取り組みの検討	◎		○		新商品の開発等に取り組み、各種展示会等でのPRを行い、海外を含めた販路拡大に努める。
新規 ⑤ 物流機能の効率化の検討	◎	○	○		空港や港が近い交通要衝としての強みを生かし、物流機能の効率化を検討する。
新規 ⑥ 近隣市町村以外の買受人の広域化の検討	◎	○	○		高齢化などにより、買受人が減少しているため、近隣市町村だけではなく、さらに広域化を検討していく。

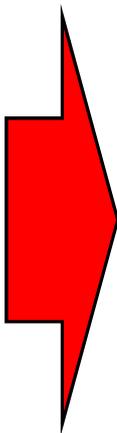


2【当初】水産物部行動計画(令和元年度～令和5年度検証結果)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				当初 計画 時期	開設者(市の検証)					事業者(卸の検証)					R6以降 へ引継					
	卸	買受人	生産者	開設者		(◎実施済 ○継続中 △一部実施 ×未実施)															
						R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5						
戦略(4) 市場の情報発信と観光機能との連携																					
観光機能と連携し生鮮食料品の消費拡大に向けた取り組みを推進																					
II 市場の役割の発揮・発信	① 市場の役割や生鮮食料品の情報発信の推進	◎	○	○	◎	短期	○							○						継続	
	② 「マルトマ食堂」など、漁港区の観光スポットとの連携の強化	○			◎	短期	○													同 左	継続
	③ 「港まつり」や「ホッキまつり」等のイベントに施設や駐車場の開放	○				◎	短期	○		○										同 左	継続
	④ 卸売市場の取引数量、内容等を開示して情報発信の強化	◎					短期			○										同 左	継続
	⑤ ホームページや掲示等により市場で扱う魚等のPR	◎	○	○			中期			○										同 左	統合
	⑥ インターネットを活用した、市場の情報や商品の提供	◎				○	中期			○										同 左	統合
戦略(5) 施設の有効利用と機能強化																					
長寿命化を図りながら施設を有効利用し、維持・整備の実施																					
III 市場施設の維持・整備	① 維持整備計画を作成し、計画的な維持・整備の実施				◎	短期	○													—	継続
	② 関係者からの要望で優先度の高いものから整備の実施	○	○	○	◎	短期	○													同 左	継続
	③ 衛生管理機能の強化	○	○	○	◎	短期	○													○	継続
	④ 建物の状況を見極め、必要な調査を行い計画の見直しを検討	○	○		◎	中長期														○	継続
	⑤ 港湾部局と協議しながら、場外保管場を整備	○			◎	短期	○		○						○					○	継続
	⑥ 冷蔵・冷凍設備の更新(代替フロン等)	○			◎	短期			◎												—
戦略(6) 使用料等の検討																					
将来的に市場に必要な費用の積算を行い、使用料等の見直しを実施																					
IV 市場の管理・経営の改善	① 市場に必要な費用の積算を行い、資金計画を作成				◎	短期	◎													—	継続
	② 売上高割使用料、施設使用料の見直しの実施				◎	短期(R元)	◎													—	終了
	③ 卸売の販売委託手数料、各種奨励金の見直しを検討	◎			○	短期			◎											同 左	終了

2【改定後】水産物部行動計画(令和6年度～令和15年度)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容	
	卸	買受人	生産者	開設者		
戦略(4) 市場の情報発信と観光機能との連携						
観光機能と連携し生鮮食料品の消費拡大に向けた取り組みを推進						
II 市場の役割の発揮・発信	① 市場の役割や生鮮食料品の情報発信の推進	◎	○	○	◎	市場感謝祭を実施する他、各種イベントなどに参加し、市場の役割や水産物の情報発信に努める。
	② 漁港区の観光スポットとの連携の強化	○			◎	マルトマ食堂、ぶらっと港市場、苫小牧漁業協同組合、卸売業者などと連携し、漁港区の魅力発信に努める。
	③ 「港まつり」や「ホッキまつり」等のイベントに施設や駐車場の開放	○			◎	「港まつり」や「ホッキまつり」などのイベントに施設や駐車場を開放する。
	④ 卸売市場の取引数量、内容等を開示して情報発信の強化	◎				市場法に基づき、卸売市場の取引数量、内容等を開示して情報発信を強化する。
	⑤ インターネット等を活用した、市場や商品の情報発信	◎	○	○		ホームページやフェイスブックなどIT技術を活用し、市場で扱う魚介類の情報発信を行っていく。
戦略(5) 施設の有効利用と機能強化						
長寿命化を図りながら施設を有効利用し、維持・整備の実施						
III 市場施設の維持・整備	① 維持整備計画を作成し、計画的な維持・整備の実施				◎	維持整備計画に基づき、修繕等を実施する。(別紙参照)
	② 関係者からの要望で優先度の高いものから整備の実施	○	○	○	◎	建物の状況を見極めながら、関係者からの要望の多いものは、前倒しするなどして修繕等を実施する。
	③ 衛生管理機能の強化	○	○	○	◎	北海道産地市場衛生管理マニュアルやHACCPによる衛生管理を実施する。
	④ 建物の状況を見極め、必要な調査を行い計画の見直しを検討	○	○		◎	水産棟の整備方針を協議する。
	⑤ 場外保管場の整備の検討	○		○	◎	水産棟の整備方針と合わせて協議する。
戦略(6) 使用料等の検討						
将来的に市場に必要な費用の積算を行い、使用料等の見直しを実施						
IV 市場の管理・経営の改善	① 市場に必要な費用の積算を行い、資金計画を作成				◎	投資・財政計画を作成する。

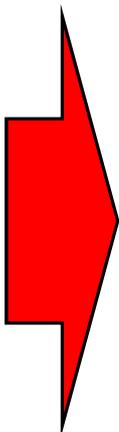


2【当初】水産物部行動計画(令和元年度～令和5年度検証結果)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				当初 計画 時期	開設者(市の検証)					事業者(卸の検証)					R6以降 へ引継
	卸	買受人	生産者	開設者		(◎実施済 ○継続中 △一部実施 ×未実施)										
						R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
IV 市場の管理・経営の改善																
戦略(7)民間活力の導入																
公共性を確保することを前提に、指定管理者制度の導入																
① 独自事業を実施できるよう管理業務を設定	○	○	◎		短期(R3)	◎								同左	終了	
R3.10指定管理者制度導入																
② 安定供給、生産者との連携を重視して指定管理者を選定	○	○	◎		短期(R3)	◎								同左	終了	
R3.10指定管理者制度導入																
③ 指定管理者制度を導入し、期間終了前に見直しを検討	○		◎		中長期	○	→							同左	継続	
※R7・R12年度、次回業務内容見直しへ																
V その他																
戦略(8)防災対策																
事業継続計画を策定し、市場間の相互応援体制を継続																
① 各種協定に基づいた他市場との相互応援体制を継続	○		◎		短期	○	→							○	→	継続
道内卸売市場による災害時相互応援協定(H24.9～)、全国公設地方卸売市場協議会災害時相互応援協定【開設者】(H29.9～)を継続						道内卸売市場による災害時相互応援協定(H24.9～)継続										
② 災害時における部門ごとの業務継続計画を確立	○	○	◎		短期		△	→						○	→	継続
卸売業者においてBCP策定																
③ 地震や津波等、様々な災害を想定した訓練を実施	○	○	◎		短期		△	→							○	継続
指定管理者制度導入後、検討中(コロナ禍、未実施)						避難訓練等実施予定										
④ 緊急時の初期電源確保のため、発電機等の常備を実施	○		◎		短期	◎								同左	終了	
各指定管理者へ設置済																
戦略(9)働きやすい環境の整備																
労働環境の改善																
① 休日や出勤時間等の労働条件の改善	◎	◎			短期	○	→							○	→	継続
休日増や残業時間の短縮に努めている						フレックス勤務やコロナ関連特別休暇等を策定										
② 若者や女性が働きやすい職場づくりの推進	◎	◎		○	短期	○	→							同左	継続	
若者や女性が働きやすい職場づくり、美化などに努めている																
③ 労働負担を軽減する設備の導入など労働環境の改善	◎	◎		○	短期		○	→								継続
IT化を進めて、業務の効率化や省力化を図る						事務のIT化の他、R5インボイス・電子帳簿保存法対応の改善										
戦略(10)その他取引ルールの検討																
ルールの設定																
① 取引ルールを設定(第三者販売・直荷引き・商物一致等)	○	○	◎		短期	◎								同左	終了	
市場法の主旨に沿って、原則、規制を緩和した業務規程を設定																

2【改定後】水産物部行動計画(令和6年度～令和15年度)

具体的施策	取り組みの主体 (◎主体/○補助)				取組内容
	卸	買受人	生産者	開設者	
IV 市場の管理・経営の改善					
戦略(7)民間活力の導入					
指定管理者制度の検証					
① 指定管理者の業務内容について検証	○			◎	指定管理期間終了前に、業務内容の検証を行う。
V その他					
戦略(8)防災対策					
事業継続計画を策定し、市場間の相互応援体制を継続					
① 各種協定に基づいた他市場との相互応援体制を継続	○			◎	道内卸売市場による災害時相互応援協定や全国公設地方卸売市場協議会災害時相互応援協定を実施する。
② 災害時における業務継続計画(BCP)を確立	○	○	○	◎	業務継続計画(BCP)の策定する。
③ 地震や津波等の災害を想定した訓練を実施	◎	○		○	様々な災害を想定した避難訓練などを実施する。
戦略(9)働きやすい環境の整備					
労働環境の改善					
① 休日や出勤時間等の労働条件の改善	◎	◎			休日増や残業時間の短縮に努め、フレックス勤務等の実施など、労働条件の改善に努める。
② 若者や女性が働きやすい職場づくりの推進	◎	◎		○	若者や女性が働きやすい職場づくりや環境美化などに努める。
③ 労働負担を軽減する設備の導入など労働環境の改善	◎	◎		○	IT化を進めて、業務の効率化、省力化を図る。



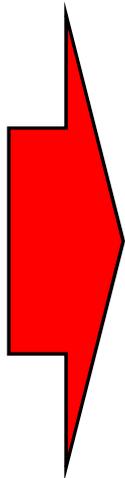
■公設地方卸売市場維持・整備計画の実施内容【令和6年1月時点】

部	施設名	施工内容（令和元年度～令和5年度）
青果部	A 青果棟	
	1 内装・設備等	R5からR2へ暖房設備更新前倒し（R2 暖房設備更新、R4 電気設備改修、R5 火災報知器・食堂換気扇更新）
	2 屋根	
	3 外壁	施設状態確認し一部未施工（保留）（R5 北側外壁修繕実施）
	4 その他外部	施設状態確認し一部未施工（保留）（R元 正面玄関庇修繕、R3 外部看板更新）
	5 床	計画どおり実施（R元 トイレ・正面玄関床修繕）
	6 巾木	施設状態確認し未施工（保留）
	7 壁	施設状態確認し一部未施工（保留）（R5 食堂壁修繕実施）
	8 天井	施設状態確認し未施工（保留）
	9 売場 床改修	1年先送りして実施（R3・R4・R5 床改修実施、R6まで実施予定）
	10 LED化	計画どおり実施（R4 東側売場LED化実施、R5西側売場LED化実施、R8まで実施予定）
	11 冷却設備の整備・更新	計画どおり実施（R元 冷凍機1機更新、R2 冷凍機1機更新、R3 冷却塔1機更新、R5 冷却設備整備）
	B 低温流通センター	
	12 屋根・外壁	計画どおり実施（R3 外壁改修実施）
	13 電気設備の整備・更新	2年先送りして実施（R4 受変電設備一部更新）
	14 冷却設備の整備・更新	計画どおり実施（R元 冷却設備整備、R2 冷却設備整備、R4 冷凍機1機・冷却塔1機更新、R5冷却設備整備）
	C 15 パッケージセンター	施設状態確認し未施工（保留）
	D 16 北側上屋1・2	計画どおり実施（R元 上屋（海側）一部屋根改修、R3 上屋（山側）一部屋根改修）
E 17 倉庫（旧パッケージセンター）	計画どおり実施（R2 入口シャッター修繕など、R5 天井修繕）	
F 18 青果部 小修繕		
水産物部	G 水産棟	
	19 外壁・事務所床・内装等	計画どおり実施（R2 2階事務所クロス貼替、R3 火災予防設備更新、R4 電気設備更新、R5食堂換気扇更新）
	20 西側屋根	計画どおり実施（R元 屋根葺替実施）
	21 天井2F部分	計画どおり実施（R元 2階天井改修実施）
	22 西側窓	計画どおり実施（R2 事務所1階・2階、内窓枠・網戸設置）
	23 売場 床修繕	計画どおり実施（R2～R4 床改修実施）
	24 LED化	計画どおり実施（R4 売場LED化実施、R5 事務所外LED化実施）
	25 防鼠設備（該当箇所）	計画どおり実施（R元 グレーティング交換実施）
	26 冷蔵・冷凍設備の整備・更新	2か年分を1年で実施（R3 冷却設備一式更新）
	H 水産物部冷蔵倉庫	
	27 水産部冷蔵倉庫	2年前倒し実施（R5 冷蔵倉庫床修繕）
	28 冷蔵・冷凍設備の更新	計画どおり実施（R2 冷却設備整備実施）
	I 29 水産外トイレ	計画どおり実施（R2 外トイレ改修実施）
	J 30 水産物部倉庫（荷受）	施設状態確認し未施工（保留）
	K 衛生管理	
	31 シートシャッター	1年前倒し実施（R2～R4 毎年1機ずつ設置）
	32 ビニールカーテン	計画どおり実施（R元 生食用エリア 温度管理用ビニールカーテン設置）
	33 室内エアコン設置	計画どおり実施（R元 生食用エリア 温度管理用エアコン設置）
	34 場外保管場	
	L 35 水産物部 小修繕	
花卉部	M 花卉棟	
	36 庇など	計画どおり実施（R3 2階給湯器更新）
	37 冷蔵設備の更新	計画どおり実施（R3 冷凍機1機更新）
	38 暖房設備（低費用化）	計画どおり実施（R3 売場、事務所暖房機更新）
N 39 花卉部 小修繕		
O 40 建物診断調査		

■公設地方卸売市場維持・整備計画 【令和6年1月時点】

実施済 ← → 実施予定

部	施設名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
青果部	A 青果棟															
	1 内装・設備等		○		○	○		○	○							
	2 屋根								○							
	3 外壁					○										
	4 その他外部	○		○							○					
	5 床	○									○					
	6 巾木										○					
	7 壁					○					○					
	8 天井										○					
	9 売場 床改修			①	②	③	④									
	10 LED化				①	②	③	④	⑤							
11 冷却設備の整備・更新	○	○	○		○	○		○		○		○	○	○	○	
B 低温流通センター	12 屋根・外壁			○						○						
	13 電気設備の整備・更新				○		○									
	14 冷却設備の整備・更新	○	○		○	○	○	○		○		○				
C 15 パッケージセンター								○	○					○		
D 16 北側上屋1・2	○		○													
E 17 倉庫(旧パッケージセンター)		○			○		※今後の使用方法協議(売却・撤去・維持修繕)									
F 18 青果部 小修繕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水産物部	G 水産棟															
	19 外壁・事務所床・内装等		○	○	○	○	○	○	○		○					
	20 西側屋根	○														
	21 天井2F部分	○														
	22 西側窓		○													
	23 売場 床修繕		①	②	③											
	24 LED化				○	○										
	25 防鼠設備	○														
26 冷蔵・冷凍設備の整備・更新			○													
H 水産物部冷蔵倉庫	27 水産物部冷蔵倉庫					○		○								
	28 冷蔵・冷凍設備の整備・更新		○					○								
I 29 水産外トイレ		○														
J 30 水産物部倉庫(荷受)																
K 衛生管理	31 シートシャッター		①	②	③											
	32 ビニールカーテン	○														
	33 室内エアコン設置	○														
	34 海水滅菌ポンプ							○	○							
	35 場外保管場							※水産棟の整備方針と合わせて協議								
L 36 水産物部 小修繕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
M 37 建物診断調査											○					



※囲み英数字は、数年に分けて実施してきたもの